

科目名 成人看護援助論 I 時間割表記名 成人看護援助論 I	配当時期 2年次 前期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 池上敬一 佐々木圭一	
事前学習内容 1年次に学習した解剖生理学、看護形態機能学、疾病論、フィジカルアセスメントなどの学習内容の復習			
授業目標 1. 対象の状態の変化に気づき、症状・経過・背景から臨床推論することができる。 2. 臨床推論から、対象の病状を認識し、その後の変化を予測することができる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 看護実践の手続き(看護実践スクリプト)	講義・GW	テキスト①資料
2	2. 看護実践能力の言語化・可視化(問題解決技能と運動技能)	メンタルシミュレーション	
3	3. 患者観察テクニックのツール(知識カード) 4. 看護実践ボードゲーム		
4	日常生活の援助場面における臨床推論の実際	講義・GW	テキスト①資料
5	1)日常生活援助実施時の臨床判断 検査・治療時における臨床推論の実際 1)検査・治療時の臨床判断 (1)侵襲的な処置(肝生検の事例) (2)観血的処置・非観血的処置	メンタルシミュレーション	
6	症状から患者に起きていることへの臨床判断:頭痛	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
7	症状から患者に起きていることへの臨床判断:腹痛	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
8	症状から患者に起きていることへの臨床判断:呼吸困難、咳嗽	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
9	症状から患者に起きていることへの臨床判断:動悸、胸痛	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
10	症状から患者に起きていることへの臨床判断:浮腫	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
11	症状から患者に起きていることへの臨床判断:出血、めまい	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
12	症状から患者に起きていることへの臨床判断:意識障害、言語障害	講義・GW	テキスト①資料
13		メンタルシミュレーション	
14	症状から患者に起きていることへの臨床判断:下痢、嘔吐	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①資料
15	課題学習の振り返り まとめ	講義・GW メンタルシミュレーション	

<p>受講上の注意</p> <p>講義の中で、事例を用いて状況をイメージしながら考え、自分の考えを言語化することを繰り返していく。</p> <p>自分の考えを積極的に発言することを意識して臨む</p>	<p>評価方法</p> <p>課題レポート</p> <p>講義の振り返り</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①急変させない患者観察テクニック 羊土社(池上敬一)</p> <p>参考図書</p> <p>① 系統看護学講座 別巻 救急看護学</p> <p>② 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア</p> <p>③ 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論</p>	